

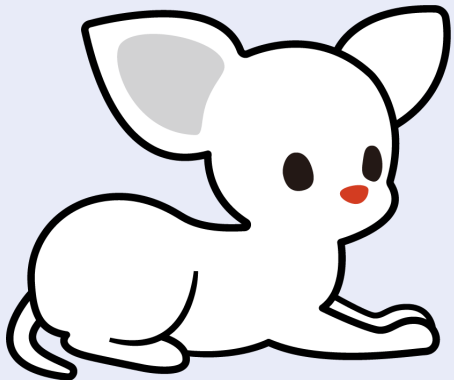
スマラジ！ SmartDB Radio

もっと活用！「SmartDB」Q&A会



評価式によるワンランク上の業務効率化

基本情報の入力・計算・採番の自動化、入力ミス防止など

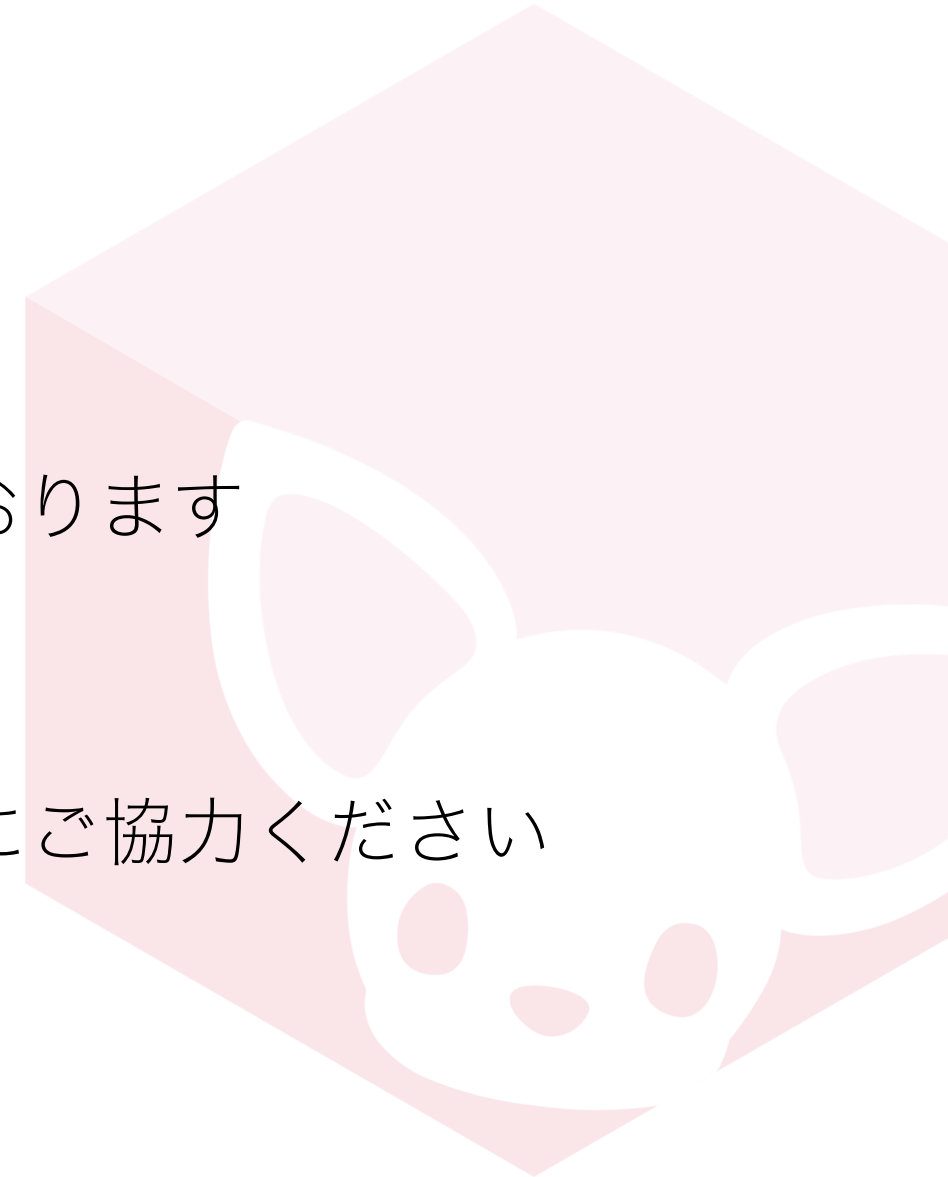


2021年8月4日

株式会社ドリーム・アーツ

ご案内

- 投影資料は後日送付いたします
- 社内共有用に録画させていただきます
- 途中のご質問はチャットにて受け付けております
お気軽にチャットにてコメントください
最後にまとめて回答いたします
- 品質向上の為、最後にアンケートの回答にご協力ください



Zoom操作説明

①チャット手順



画面下の方にあるメニューに
「チャット」アイコンがあります。

こちらをクリックすると、
チャットのウィンドウが出てきます。

送信先を「**全員**」にした状態で、
チャットしてください。

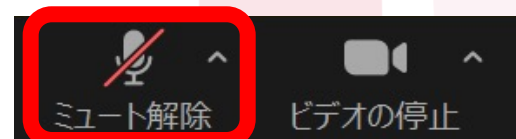
※宛先が「全員」ではない場合、
投稿に気が付けない場合がございます。

②ミュート設定のお願い

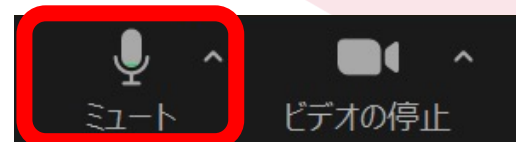
本イベント中は質問コーナー以外は
基本**全員ミュート**でのご参加を
お願いいたします。

※何かあればチャットにてお知らせください。

↓**ミュート中**です。喋っても聞こえません。



↓**ミュート解除**です。
喋ると全員に声が聞こえます



本日のDAメンバー

講師



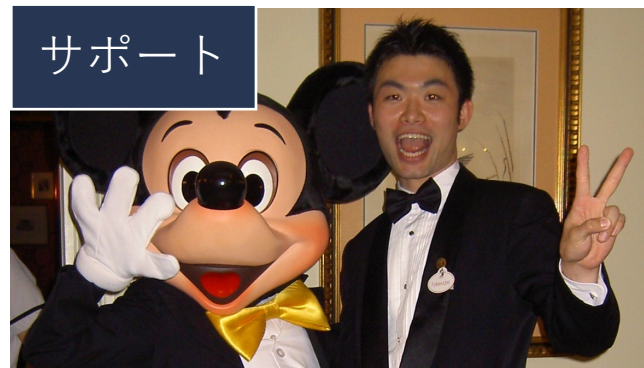
氏名 王 京
所属 コアビジネス本部 EAグループ
出身 中国北京（1999年来日）
経歴 プログラマー→導入提案支援→サポート営業
趣味 TVゲーム、ドライブ、旅行

サポート



氏名 富田 明日美
所属 協創パートナー推進本部 プロモーションG
出身 神奈川県（沖縄に見られがち）
経歴 サポート→マーケ→導入提案（CT）→マーケ
趣味 散歩、波乗り：ボディボード、海を見ること

サポート



氏名 増本 大介
所属 協創パートナー推進本部
出身 愛知県
経歴 営業→導入プロジェクト→営業
趣味 ダイエット、料理、ドラマ鑑賞

“スマラジ！”とは SmartDB Radio



“スマラジ！”（SmartDB Radio）とは

「SmartDB」の特定機能を深掘りし、活用いただくきっかけづくりの場を実現する **コミュニティ活動の一環**です。お客さまから **深掘りしたいと要望のあった機能**に対し、弊社から基本的な機能説明から応用編として利用シーンなどをご紹介します。また、該当機能に対して事前にいただいた質問にも回答。お気軽にご参加いただける **オンラインの質疑応答会**です！
事前に募集したご質問に、一つずつ回答していきます。

画面操作も含めた回答を確認でき、ドキュメント見る場合より理解が進むほか、他参加者の質問回答を元に、新たな気づきを得ていただける場となります。SmartDBの活用をさらに広げていただくきっかけになれば幸いです。

本日のテーマは…

評価式



本日の流れ

No.	時間	所要	内容
1	16:00	5分	お願い事項、企画趣旨について
2	16:05	30分	評価式の使い方に紹介（基本・利用シーンなど）
3	16:35	20分	事前質問への回答
4	16:55	5分	サポートコンテンツのご案内、アンケートのお願い
5	17:00		終了

★終了後30分ほど講師は残ります。ご質問などにご活用ください。

評価式について

1. 評価式とは
2. 利用シーン（基本編、応用編）
3. 関数の種類
4. 部品の設定方法
5. 事前質問への回答
6. 便利なサポートコンテンツ

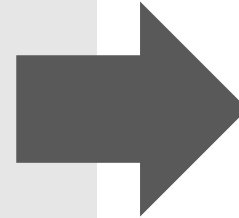


1. 評価式とは



利用メリット

1. 情報参照
(アカウントの基本・拡張情報を表示、マスタバインダ参照)
2. 自動計算
(数値集計、日付計算など)
3. 条件分岐で値セット
(採番、選択肢) ◎フィルタとの組み合わせで利用
4. 複数部品を情報を結合

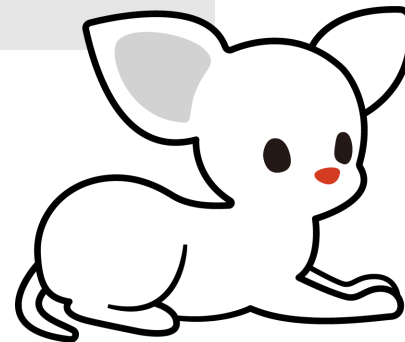


入力負荷の軽減

入力ミス防止

(入力不備による差戻し回避)

命名規則の統一



利用者だけでなく
管理者もラクになって
業務効率化につながるよ

2.利用シーン



利用シーン

基本編

- 1 : ログインユーザの拡張情報の取得と表示
- 2 : マスタバインダの情報参照
- 3 : 金額の合計計算

応用編

- 1 : 日付の差分計算
- 2 : 年度毎自動採番 (条件分岐あり)

+ α



利用シーン（基本編1）

ログインユーザの拡張情報の取得と表示

[10004] ■ 登録者情報 (編集)

- [10011] 登録者 (登録者)
 - 登録者
 - 登録者名: [Registrant:10012] 登録者名
 - 検索: 全てのアカウントの検索
 - 表示: 王京
- [10062] 登録者所属部署 (登録者所属部署)
 - 登録者所属部署
 - lookup('Registrant','primaryAssignedAccountName')(自動更新部品:テキスト型)
 - 注釈: ((Registrant) 登録者名 -> [primaryAssignedAccountName] 所属組織)
- [10064] 登録者メールアドレス (登録者メールアドレス)
 - 登録者メールアドレス
 - lookup('Registrant','email')(自動更新部品:テキスト型)
 - 注釈: ((Registrant) 登録者名 -> [email] メールアドレス)

- ・ 関連部品
 - アカウント部品
 - テキストボックス部品
- ・ 利用評価式
 - lookup関数

部品編集

部品タイプ: 自動更新部品

部品キー:

項目名:

項目名フ:

項目名色:

条件と評価式

条件 | 評価式

lookup('Registrant','primaryAssignedAccountName') クリア

lookup関数で外部のバインダの部品キーを指定する場合は、部品キーをシングルクォート (') またはダブルクォート (") で囲む必要があります。部品IDを指定する場合は、不要です。

検索: 検索

レイアウトブロックを選択: 部品ID・キー・項目名を検索

[Registrant] 登録者名

- ト [mid] アカウント番号
- ト [name] 名前
- ト [phoneticName] 名前 (ふりがな)
- ト [email] メールアドレス
- ト [description] メモ
- ト [primaryAssignedAccountId] 所属組織番号
- ト [primaryAssignedAccountName] 所属組織
- ト [employeeNumber] 社員番号
- ト [superordinateGroup] 上位組織 (自身起点)
- ト [superordinateGroupFromRoot] 上位組織 (ルート起点)
- ト [extKey.id] 付加情報 (id)

キャンセル 設定

利用シーン (基本編3)

金額計算 (加算・乗算)

[10087] 購入予定品名	[10186] 単価 (税抜)	[10187] 数量	[10188] 小計
購入予定品名	単価 (税抜)	数量	小計
[Item:10193] 購入予定品名	[Unit_price:10194] 単価 (税抜)	[Amount:10195] 数量入力	Subtotal:10196] 小計
	円		円 [10194] * (数値入力ボックス) [10195] (数値入力ボックス) ([Unit_price] 単価 (税抜)) * [Amount] 数量入力)
[Item_1:10249] 購入予定品名	[Unit_price_1:10250] 単価 (税抜)	[Amount_1:10251] 数量入力	Subtotal_1:10252] 小計
	円		円 [10250] * (数値入力ボックス) [10251] (数値入力ボックス) ([Unit_price_1] 単価 (税抜)) * [Amount_1] 数量入力)
[Item_1_1:10253] 購入予定品名	[Unit_price_1_1:10254] 単価 (税抜)	[Amount_1_1:10255] 数量入力	Subtotal_1_1:10256] 小計
	円		円 [10254] * (数値入力ボックス) [10255] (数値入力ボックス) ([Unit_price_1_1] 単価 (税抜)) * [Amount_1_1] 数量入力)
[10206] 合計金額 (税抜) :	合計金額 (税抜) :		[Total:10207] 合計金額
			円 sum([10196], [10252], [10256]) (数値入力ボックス) sum([Subtotal] 小計, [Subtotal_1] 小計, [Subtotal_1_1] 小計)

- 関連部品
- 数値入力ボックス部品
- 利用評価式
- 乗算 (*)
- sum関数

条件と評価式

条件 評価式

[10194] * [10195] クリア

lookup関数で外部のバインドの部品キーを指定する場合は、部品キーをシングルクォート (') またはダブルクォート (") で囲む必要があります。部品IDを指定する場合は、不要です。

関数を選択

レイアウトブロックを選択

部品ID・キー・項目名を検索

[Date] 申請日

[Applicant] 申請者

[mid] アカウント

[name] 名前

[phoneticName] 名前 (ふりがな)

[email] メールアドレス

[description] メモ

[primaryAssignedAccountId] 所属組織番号

[primaryAssignedAccountName] 所属組織

[employeeNumber] 社員番号

[superordinateGroup] 上位組織 (自身起点)

[superordinateGroupFromRoot] 上位組織 (ルート起点)

キャンセル 設定

利用シーン (応用編1)

日付の差分計算

[10010] 開始時期 [Start_date:10052] 開始時期 [10091] 終了時期

開始時期 2021 年 07 月 30 日 終了時期

[10092] イベント期間 [10093] イベント期間 [10094] メッセージ

イベント期間

営業日
 dateDiffInWorkDays([Start_date], [End_date]) (数値入力ボックス)
 dateDiffInWorkDays([Start_date] 開始時期, [End_date] 終了時期)

concatenate("※イベント期間は5営業日以上に設定してください!!")
 concatenate("※イベント期間は5営業日以上に設定してください!!")

すべて表示

条件と評価式

条件 評価式

dateDiffInWorkDays([Start_date], [End_date]) クリア

lookup関数で外部のバインダの部品キーを指定する場合は、部品キーをシングルクォート (') またはダブルクォート (") で囲む必要があります。部品IDを指定する場合は、不要です。

関数を選択

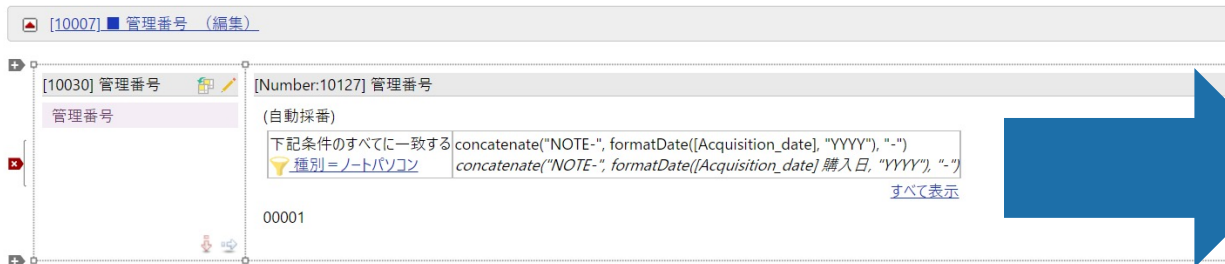
レイアウトブロックを選択 部品ID・キー・項目名を検索

[Title] タイトル
 [Event_category] イベントカテゴリ
 † [10001] 選択項目名
 † [10002] 選択項目ID
 [Start_date] 開始時期
 [End_date] 終了時期
 [Place] 場所
 [Organization] 主管部門
 † [mid] アカウント番号
 † [name] 名前
 † [phoneticName] 名前 (ふりがな)
 † [email] メールアドレス

キャンセル 設定

- 関連部品
 - 日付選択部品
 - 数値入力ボックス部品
- 利用評価式
 - dateDiffInWorkDays関数

年度単位での自動採番（条件分岐あり）



- 関連部品
 - 自動採番部品
- 利用評価式
 - concatenate関数
 - formatDate関数

例：
 2021/08/02購入
 ①購入品：ノートパソコン
 →NOTE-2021-00001…
 ②購入品：デスクトップ
 →DESKTOP-2021-00001…
 2021/08/03購入
 ③購入品：ノートパソコン
 →NOTE-2021-00002…

評価式		条件	評価式	
≡	編集	<input checked="" type="checkbox"/> 下記条件のすべてに一致する 種別 = ノートパソコン	concatenate("NOTE-", formatDate([Acquisition_date], "YYYY"), "-") concatenate("NOTE-", formatDate([Acquisition_date] 購入日, "YYYY"), "-")	⊗
≡	編集	<input checked="" type="checkbox"/> 下記条件のすべてに一致する 種別 = デスクトップ	concatenate("DESKTOP-", formatDate([Acquisition_date], "YYYY"), "-") concatenate("DESKTOP-", formatDate([Acquisition_date] 購入日, "YYYY"), "-")	⊗
≡	編集	<input checked="" type="checkbox"/> 下記条件のすべてに一致する 種別 = タブレット	concatenate("PAD-", formatDate([Acquisition_date], "YYYY"), "-") concatenate("PAD-", formatDate([Acquisition_date] 購入日, "YYYY"), "-")	⊗
≡	編集	<input checked="" type="checkbox"/> 下記条件のすべてに一致する 種別 = スマートフォン	concatenate("MOBIO-", formatDate([Acquisition_date], "YYYY"), "-") concatenate("MOBIO-", formatDate([Acquisition_date] 購入日, "YYYY"), "-")	⊗
≡	編集	<input checked="" type="checkbox"/> 条件なし	clear() clear()	⊗

利用シーン（+α編）

関数・部品の組み合わせで
いろんなことができるよ！
（色々試してみてね）



評価式は奥が深い…
その分極めると楽しいし、活用の幅がとても広い機能です

リスト型部品による四則演算

イベントハンドラ内でも評価式を利用可能

文書ステータスに応じた閲覧ユーザの自動取得

アカウント部品に登録したユーザ数のチェック

年度及び四半期の自動計算

基準日を基にしたマイルストーン日付の自動設定

同一人物比較チェック（MID）

3.関数の種類



評価式の関数一覧 1/3

評価式の構文	戻り値	サンプル	
数値演算			
sum(数値1,数値2, ...)	数値	sum(100,150)	⇒ 数値1(100)と数値2(150)の和を返す。
		sum([10002],150,200)	⇒ 数値1(部品ID[10002]の数値)と数値2(150)と数値3(250)の和を返す。
average(数値1,数値2, ...)	数値	average(100,150,200)	⇒ 数値1(100)と数値2(150)と数値3(200)の平均値を返す。
		average([10002],[10003])	⇒ 数値1(部品ID[10002]の数値)と数値2(部品ID[10003]の数値)を返す。
min(数値1,数値2, ...)	数値	min(100,200,500)	⇒ 数値1(100)と数値2(200)と数値3(500)の中で最小値を返す。
		min([10002],200,500)	⇒ 数値1(部品ID[10002]の数値)と数値2(200)と数値3(500)の中で最小値を返す。
max(数値1,数値2, ...)	数値	max(100,200,500)	⇒ 数値1(100)と数値2(200)と数値3(500)の中で最大値を返す。
		max([10002],200,500)	⇒ 数値1(部品ID[10002]の数値)と数値2(200)と数値3(500)の中で最大値を返す。
abs(数値)	数値	abs(-150)	⇒ 数値(-150)を絶対値で返す。
		abs([10002])	⇒ 数値(部品ID[10002]の数値)を絶対値で返す。
roundNumber(数値,小数点以下桁数)	数値	roundNumber(12.3456789,5)	⇒ 数値(12.3456789)に対して、小数点以下桁数に設定した次の桁で四捨五入し、小数第(5)位の値を返す。
		roundNumber([10002],5)	⇒ 数値(部品ID[10002])に対して、小数点以下桁数に設定した次の桁で四捨五入し、小数第(5)位の値を返す。
formatNumber(数値,"フォーマット")	数値	formatNumber(12345.67891,"#,###.###")	⇒ 数値(12345.67891)を""部分に入力したフォーマットで返す。
		formatNumber([10002],"#,###.###")	⇒ 数値(部品ID[10002])を""部分に入力したフォーマットで返す。
roundNumberDown(数値,小数点以下桁数)	数値	roundNumberDown(12345.67891,1)	⇒ 数値(12345.67891)に対して、指定した小数点以下桁数で切り捨てます。
		roundNumberDown([10002],-1)	⇒ 数値(部品ID[10002])に対して、指定した小数点以下桁数で切り捨てます。
roundNumberUp(数値,小数点以下桁数)	数値	roundNumberUp(12345.67891,1)	⇒ 数値(12345.67891)に対して、指定した小数点以下桁数で切り上げます。
		roundNumberUp([10002],-1)	⇒ 数値(部品ID[10002])に対して、指定した小数点以下桁数で切り上げます。
checkDigitJANCode(数値)	数値	checkDigitJANCode([10002])	⇒ 数値(部品ID[10002])のチェックデジットを返す。

製品ガイドより抜粋 (URLは [こちら](#))

評価式の関数一覧 2/3

日付演算			
addMinutes(日付, 分数)	日付	addMinutes([10002],15)	⇒ 日付(部品ID[10002])に分数(15)を加算した日時を返す。【表示形式：yyyy/MM/dd hh:mm】
addHours(日付, 時数)	日付	addHours([10002],1)	⇒ 日付(部品ID[10002])に時数(1)を加算した日時を返す。【表示形式：yyyy/MM/dd hh:mm】
addDays(日付, 日数)	日付	addDays([10002],1)	⇒ 日付(部品ID[10002])に日数(1)を加算した日付を返す。【表示形式：yyyy/MM/dd hh:mm】
addWorkDays(日付, 日数)	日付	addWorkDays([10002],1)	⇒ 日付(部品ID[10002])に営業日数(1)を加算した日付を返す。【表示形式：yyyy/MM/dd hh:mm】
addMonths(日付, 月数)	日付	addMonths([10002],1)	⇒ 日付(部品ID[10002])に月数(1)を加算した日付を返す。【表示形式：yyyy/MM/dd hh:mm】
addYears(日付, 年数)	日付	addYears([10002],1)	⇒ 日付(部品ID[10002])に年数(1)を加算した日付を返す。【表示形式：yyyy/MM/dd hh:mm】
dateDiffInMinutes(日付1, 日付2)	数値	dateDiffInMinutes([10001],[10002])	⇒ 日付2(部品ID[10002])から日付1(部品ID[10001])を引いた差を分で返す。
dateDiffInHours(日付1, 日付2)	数値	dateDiffInHours([10001],[10002])	⇒ 日付2(部品ID[10002])から日付1(部品ID[10001])を引いた差を時で返す。
dateDiffInDays(日付1, 日付2)	数値	dateDiffInDays([10001],[10002])	⇒ 日付2(部品ID[10002])から日付1(部品ID[10001])を引いた差を日で返す。 ※時刻を含む場合、時刻の値は無視されます。 ※時刻のみの場合、「1970/01/01」を補足して計算します。
dateDiffInWorkDays(日付1, 日付2)	数値	dateDiffInWorkDays([10001],[10002])	⇒ 日付2(部品ID[10002])から日付1(部品ID[10001])を引いた差を営業日で返す。 ※時刻を含む場合、時刻の値は無視されます。 ※時刻のみの場合、「1970/01/01」を補足して計算します。
dateDiffInMonths(日付1, 日付2)	数値	dateDiffInMonths([10001],[10002])	⇒ 日付2(部品ID[10002])から日付1(部品ID[10001])を引いた差を月で返す。 ※日以下の値は無視されます。 ※時刻のみの場合、「1970/01/01」を補足して計算します。
dateDiffInYears(日付1, 日付2)	数値	dateDiffInYears([10001],[10002])	⇒ 日付2(部品ID[10002])から日付1(部品ID[10001])を引いた差を年で返す。 ※月以下の値は無視されます。 ※時刻のみの場合、「1970/01/01」を補足して計算します。
formatDate(日付,"フォーマット")	日付	formatDate([10002],"西暦yyyy年MM月dd日")	⇒ 日付(部品ID[10002])を入力したフォーマットで返す。
firstDayInWeek(日付)	日付	firstDayInWeek([10002])	⇒ 代入先の部品の値にdefault.xmlの<first-day-of-week>に設定されている値を返す。
now()	日付	now()	⇒ 現在の日付を返す。【表示形式：yyyy-MM-dd hh:mm:ss】

製品ガイドより抜粋 (URLは[こちら](#))

評価式の関数一覧 3/3

文字列処理			
concatenate(文字列1,文字列2, ...)	文字列	concatenate(120,"ああああ")	⇒ 文字列1(120)と文字列2(ああああ)を連結して返す。
		concatenate([10002],200,"iiiiii")	⇒ 文字列1(部品ID[10002])と文字列2(200)と文字列3(iiiiiii)を連結して返す。
substring(文字列,開始1[,終了1][,開始2[,終了2])	文字列	substring(123456789,3,7)	⇒ 文字列(123456789)の開始1である(3)文字目以降から終了1である(7)文字目までの文字列「4567」を返す。
		substring("あいうえおかきくけこ",3,5,8,10)	⇒ 文字列(あいうえおかきくけこ)の開始1である(3)文字目以降から終了1である(5)文字目までと、開始2である(8)文字目以降から終了2である(10)文字目までの文字列「えおけこ」を返す。
		substring([10002],3,7)	⇒ 文字列(部品ID[10002])に対し、開始1である(3)文字目以降から終了1である(7)文字目までの文字列を返す。
len(文字列)	数値	len("ああああ")	⇒ 文字列(ああああ)に含まれる文字数 (4) を返す。
		len([10002])	⇒ 文字列(部品ID[10002])に含まれる文字数を返す。
値参照			
lookup(バイнда参照部品ID,参照元部品ID)		lookup(10010,10003)	⇒ バイнда参照部品ID(10010)の参照先にある部品ID(10003)の値を返す。
lookup(アカウント選択系部品ID,参照項目キー,[引数])		lookup(10015,'name')	⇒ アカウント選択系部品ID(10015)にセットされたアカウントの名前(name)の値を返す。
lookup(選択系部品ID,参照項目キー)		lookup(10020,'name')	⇒ 選択系部品ID(10020)にセットされた選択項目名(name)の値を返す。
lookup(カテゴリ部品ID,参照項目キー)		lookup(10025,'name')	⇒ カテゴリ部品ID(10025)にセットされたカテゴリ名(name)の値を返す。
その他			
clear		clear()	⇒ 部品の値をクリアします。

製品ガイドより抜粋 (URLは[こちら](#))

4. 部品の設定方法



【参考】 評価式を利用できる部品

部品	対応バージョン
自動更新部品	3.4.0以上
文字列入力ボックス 数値入力ボックス 複数選択 単一選択（項目） 単一選択（メニュー） 入力可能な単一選択（メニュー） 日付選択 アカウント選択（ポップアップ）	3.4.4以上
文章入力エリア カテゴリ	3.4.5以上

評価式の設定 (デモ)

評価式を利用するための部品設定

評価式

編集可否	1	<input checked="" type="checkbox"/> 編集可能
	2	<input checked="" type="checkbox"/> 手動更新アイコン表示
	3	<input checked="" type="checkbox"/> 「初期値」に評価式を使用
	4	登録・編集画面の関連部品変更時 または 関連文書基本情報変更時 自動更新モード <input type="radio"/> 常に更新しない <input checked="" type="radio"/> 更新する <input type="radio"/> 空の場合のみ更新する
参照エラー時の処理	5	<input type="radio"/> 評価を中止する <input checked="" type="radio"/> 0もしくは空文字列として取り扱う
条件を満たさない時	6	<input checked="" type="radio"/> 元の値を保持する <input type="radio"/> 値をクリアする
設定追加		7

- 1、ユーザによる編集可否を指定
チェックを入れると、文書登録/更新時に部品値を編集できます。
- 2、手動更新アイコンの表示/非表示を指定
チェックを入れると、手動更新アイコンが表示されます。
アイコンをクリックすることで、部品を最新の状態に更新できます。
- 3、初期値に対する評価式の実行可否を指定
チェックを入れると、参照する部品に設定されている初期値に対して評価式を実行できます。
- 4、参照する部品変更時の更新条件を指定
評価式から参照される部品が更新された場合の更新条件を指定できます。
- 5、参照エラー時の処理を指定
参照エラーとなった場合の処理を指定できます。
- 6、条件を満たさない時の処理を指定
設定した評価式の条件すべて満たさない場合の処理を指定できます。
- 7、評価式と実行条件を設定

[設定追加] をクリックすると評価式の設定画面が表示されます。

※2～4の項目は評価式が「編集可能」の場合に表示されます。

[引用：サポートサイト らく楽逆引き集～便利帳～（評価式）](#)

評価式を利用するための部品設定



8、評価式を設定

- ①実行する評価式を設定します。関数を手動で入力するか、②で選択する関数や④で選択する部品の情報が入力されることで設定できます。
- ②使用する関数を選択できます。選択された関数は①に入力されます。
- ③ (3.4.4↑) 評価式に使用可能な部品を絞り込めます。
レイアウトブロックの選択および部品ID・部品キー・項目名の検索により絞り込んだ結果は、④に反映されます。
- ④評価式に使用する評価式実行可能な部品を選択できます。
部品をダブルクリックで選択することで、①の評価式入力エリアに反映されます。

評価式を利用するための部品設定

3.4.4↑

条件と評価式

条件 9 式

条件なしでも登録できます。

下記条件のすべてに一致する 下記条件のいずれかに一致する

10万円以上

10万円未満

北海道/東北

否認

否認

承認済

更新一週間以内

申請中

管理用

表示制御

関連



評価式

編集可能

手動更新アイコン表示

「初期値」に評価式を使用

編集可否

登録・編集画面の関連部品変更時

自動更新モード

常に更新しない

更新する

空の場合のみ更新する

参照エラー時の処理 評価を中止する 0もしくは空文字列として取り扱う

		条件	評価式		
≡	編集	<input checked="" type="checkbox"/>	下記条件のすべてに一致する 10万円以上	[10017] * list('sum',10120) ([10017] 金額 * list("sum", 10120))	⊗
≡	編集	<input checked="" type="checkbox"/>	下記条件のすべてに一致する 10万円未満	[10015] [10015] 商品名	⊗

設定追加

9、評価式の実行条件を設定（3.4.4↑）

フィルタ定義を選択することで、条件によって異なる評価式を実行することができます。設定した条件と評価式は、部品編集画面にて一覧表示されます。チェックボックスのチェックを外すと評価式が無効となります。

※条件を設定せずに評価式を登録することもでき、その場合は条件は真として評価式が実行されます。

※評価式は有効な定義が上から順番に評価されます！

条件が一致するとその評価式が実行され、処理が終了します。

≡ で評価式の順番を入れ替えます。

⊗ で削除できます。

引用：サポートサイト [らく楽逆引き集～便利帳～（評価式）](#)

5.事前質問への回答



事前質問

No.	Q
1	評価式一覧などがあれば作成時に役立つなと思いましたが、そのようなものはありますでしょうか。
2	<ul style="list-style-type: none">・それぞれの評価式が何に利用できるのか、具体的な利用シーンを知りたいです。何に利用できるのかを理解していないと、自分が理解できている評価式の範囲でしか開発ができませんので、SmartDBの良さを活かさきれていないと感じています。・評価式でできること、基本的な使い方をお聞きしたいです
3	評価式（例えばVLOOKUP）で他のバインダの部品を指定するときに、探しやすい方法などあれば教えて下さい。
4	評価式の結果が更新されるタイミングを教えてください (一覧画面で文書編集し、参照している値を変更した際は該当データの詳細画面を開かなくても再計算される？等気を付ける点があれば教えてください)
5	「評価式」自身をJavaScriptなどで記載して作成することはできますか。
6	リファレンスガイドに掲載されていない便利な評価式はありますか？

事前質問への回答

No.	QA
1	<p>Q：評価式一覧などがあれば作成時に役立つなと思いましたが、そのようなものはありますか</p> <p>A：サポートサイト>ドキュメント（文書管理・バインダ作成編）>付録>評価式関連資料にございます ： 製品ガイド バインダ作成編 評価式関連資料（Basicプランご利用の方はこちら） ： 製品ガイド 文書管理編 評価式関連資料（Basicプランご利用の方以外はこちら）</p>
2	<p>Q・それぞれの評価式が何に利用できるのか、具体的な利用シーンを知りたいです。 何に利用できるのかを理解していないと、自分が理解できている評価式の範囲でしか開発ができませんので、SmartDBの良さを活かさきれていないと感じています。 ・評価式でできること、基本的な使い方をお聞きしたいです</p> <p>A：本日の利用シーン、Q1の評価式一覧をご活用ください</p>
3	<p>Q：評価式（例えばVLOOKUP）で他のバインダの部品を指定するときに、探しやすい方法などあれば教えて下さい。</p> <p>A：本日まで紹介した、検索窓「評価式に使用可能な部品」をご活用ください +参照したい項目名やID、バインダ参照部品の項目名・IDなどを探すと見つけやすいです</p>

事前質問への回答

No.	QA
4	<p>Q：評価式の結果が更新されるタイミングを教えてください (一覧画面で文書編集し、参照している値を変更した際は該当データの詳細画面を開かなくても再計算される？等気を付ける点があれば教えてください)</p>

A：評価式に関連する値の更新方法に応じて変わります

値の更新方法が...

1.CSVインポートで登録・更新、イベントハンドラで部品値の登録・更新

：自動で再計算されず、再計算処理（一括再計算、再計算タグで再計算の処理追加）が必要

2.編集ボタン押下やビュー定義の一括編集/編集可能なビューで登録・編集、再計算定義の設定による変更

：自動で再計算されます※

※評価式の更新条件によっても評価式の再計算のタイミングは変わります

例：編集不可に設定＞自動更新モード＞「常に更新しない」「空の場合のみに更新」

事前質問への回答

No.	QA
5	<p>Q：「評価式」自身をJavaScriptなどで記載して作成することはできますか。</p> <p>A：評価式の関数をJavaScriptでカスタマイズすることはできません。 既存の関数を組み合わせて利用することで活用の幅を広げることができます。 実現したいことをご相談ください。</p>
6	<p>Q：リファレンスガイドに掲載されていない便利な評価式はありますか？</p> <p>A：評価式の関数について全て掲載しております。一部限定的な記載の部分があるため、いくつか補足させていただきます。</p> <p>①アカウント部品で参照できる項目、②日付部品：表示形式ごとの選択可能フォーマット ③数値入力ボックス部品：指定可能な表示フォーマット例</p>

補足① アカウト部品：上位組織の参照方法

参考：アカウト部品：評価式で参照できる項目

社員番号、所属組織、所属組織番号、メモ、メールアドレス、アカウント番号、名前（ふりがな）、名前、上位組織（自身起点）、上位組織（ルート起点）、[役職、電話番号1、電話番号2、内線番号、FAX番号1、FAX番号2、携帯電話、携帯メールアドレス、その他メールアドレス1、その他メールアドレス2、郵便番号、都道府県、URL、国、住所、敬称]
※[]内は、ユーザ・組織の拡張項目を連携している環境の場合に選択可能です。

【補足】

2つの方法で指定アカウントの上位組織が取得可能、利用時には引数が必要

→詳細は次スライドへ

補足① アカウント部品：上位組織の参照方法

2つの方法で指定アカウントの上位組織が取得可能、利用時には引数が必要

1.自身起点 superordinateGroupFromRoot

：自組織（組織視点）、プライマリ所属組織（ユーザ）を起点にN階層上となるかを指定して利用

2.ルート起点 superordinateGroup

：ルート組織を起点に取得したい組織の階層位置を指定して利用

1
2

条件と評価式

条件 評価式

lookup('Committer','superordinateGroup',1) クリア

lookup('Committer','superordinateGroupFromRoot',1)

lookup関数で外部のバインダの部品キーを指定する場合は、部品キーをシングルクォート(')またはダブルクォート(“)で囲む必要があります。部品IDを指定する場合は、不要です。

関数を選択

レイアウトブロックを選択 部品ID・キー・項目名を検索

[description] メモ

└ [primaryAssignedAccountId] 所属組織番号

└ [primaryAssignedAccountName] 所属組織

└ [employeeNumber] 社員番号

└ [superordinateGroup] 上位組織(自身起点)

└ [superordinateGroupFromRoot] 上位組織(ルート起点)

÷ (

×)

- ,

+

補足② 日付部品：表示形式ごとの選択可能フォーマット

表 表示形式ごとの選択可能フォーマット

表示形式	フォーマット	登録例
年月	標準	2008/01
	yyyy年M月	2008年1月
	MMM-yy	1-08
年月日	標準	2008/01/29
	yyyy/MM/dd(E)	2008/01/29(火)
	yyyy年M月d日 EEEE	2008年1月29日 火曜日
	yyyy/M/d	2008/1/29

組み合わせる評価式

- formatdate (日付,フォーマット)

→ 例) 採番の接頭辞、掲示板の件名
など命名規則を統一させたいもの

時刻を含む	標準	2008/01/29 15:36
	yyyy/MM/dd HH:mm(E)	2008/01/29 15:36(火)
	yyyy/M/d H:mm	2008/1/29 15:36
	yyyy/M/d H:mm:ss	2008/1/29 15:36:00
	yyyy/MM/dd a h:mm	2008/01/29 午後 3:36
	yyyy年M月d日 HH時mm分	2008年1月29日 15時36分
	yyyy年M月d日 ah時mm分	2008年1月29日 午後3時36分
	yyyy年M月d日 ah時mm分 EEEE	2008年1月29日 午後3時36分 火曜日
時刻のみ	標準	15:36
	a h:mm	午後 3:36
	H:mm	15:36
	H:mm:ss	15:36:00

補足③ 数値入力部品：指定可能な表示フォーマット

指定フォーマット	入力値	表示	説明
#	123456789	123456789	桁区切りなし。
###,###	123456789	123,456,789	3桁区切り。
000,000	1234	001,234	3桁区切りで0埋め。
###,###.00	123456.789	123456.79 (※)	3桁区切りと小数第2位までの表示。
000,000.###	12345.6784	012,345.678 (※)	3桁区切りと小数第3位までの表示。
000,000.0000	1234.567	001,234.5670	3桁区切りと小数第4位までの表示で0埋め。
##.0%	0.345	34.5%	小数第1位までの表示で%表示。

組み合わせる評価式

- ・ formatNumber(数値,フォーマット)

6.便利なサポートコンテンツ



便利なサポートコンテンツ

- ・ 基本機能説明、評価式で使える関数一覧など

： [製品ガイド バインダ作成編 評価式関連資料](#) (Basicプランご利用の方はこちら)

： [製品ガイド 文書管理編 評価式関連資料](#) (Basicプランご利用の方以外はこちら)

- ・ 補足_設定画面の詳細説明、各部品へのInput/outputフォーマットなど

： [サポートサイト らく楽逆引き集～便利帳～ \(評価式\)](#)

- ・ トレーニング動画

： [CSガイド オンライントレーニング](#)

例) [数値を計算する評価式を設定する方法](#)、など各種公開

- ・ Tips

： [CSガイド Q&A](#)

例) [2つの日付選択部品の差分を計算することはできますか](#)、など各種公開

スマコミュ！（SmartDB Community）

スマラジ！はスマコミュ！（SmartDB Community）の一環です。
スマコミュ！とは「SmartDB」の利活用促進のためにユーザー様同士が
さまざまな情報交換・ディスカッションをおこなうコミュニティ（集い）です。

「SmartDB」に関する工夫やアイデア、お悩みを共有しあい、
ユーザー様同士が交流することができる少人数・小規模な会を開催します。

<過去開催例>

：申請業務の効率化に関する検討、女子会など

